



3学期も残すところあとひと月

2月上旬は、よく節分荒れと言って、寒さが厳しくなったり雪がたくさん積もったりということがありますが、今年もまさにその通りとなりました。雪はさほど積もりませんが、寒さはかなり厳しく感じています。

このお便りが皆様に届くころには、もう少し過ぎやすくなっていることを期待します。

さて、今年度も残すところあとひと月というところで、学年のまとめ、卒業式関係、そして学校統合に向けての動きが慌ただしくなってきました。本校では、今のところインフルエンザ等の感染症は流行っていませんが、十分に気をつけて、みんなで元気に乗り切りたいと思っています。

皆様におかれましても、どうぞお身体ご自愛ください。

3学期の始業式 (1/8)



情けは人の為ならず

3学期の始業式に、このことわざについて話をしました。よく耳にすることわざで、「人に情けをかけるのは、その人のためになるばかり

でなく、やがてはめぐりめぐって自分に返ってくる。」という意味です。

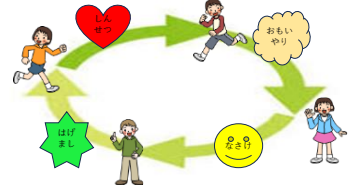
情けというものは、他者に対しての思いやりの気持ちで、人の心や時間を豊かにしてくれるものです。もちろん、我慢して自分を犠牲にして他の人に尽くすこととは違います。心からの優しい気持ち、何か役に立てるかなという思いから行動したことが、「人の為ならず」、いつか自分のところへ何倍にもなって返ってくるというものです。

これは、これまで子どもたちに繰り返し伝えてきたことに似ているなど思いました。それは、「友だちのよいところ見つけ」です。

友だちのよいところみつけ



情けは人の為ならず



すばらしい学校



「すばらしい学校」に向かって、少しずつではありますが、確実に歩みを進めているように感じています。

なわとび大会

1月21日、なわとび大会が開催されました。この日に向けて、各学級で体育の時間だけでなく休憩時間も練習に取り組む姿がありました。1・2年生は、2学期までの最高記録と本番の回数との伸び数で競います。3年生以上は、本番の回数だけのガチンコ勝負です。下の学年は下剋上をねらい、上の学年は勝って当たり前の意地を見せたい。結果はやはり学年順となりましたが、なかなかの名勝負でした。白熱した勝負の場面もあり、目標を達成してガッツポーズをとる場面もあり、そして、お互いのがんばりをたたえ合う場面もたくさん見られ、とってもすばらしいなわとび大会となりました。



りをしました。長なわ八の字とびでは、これまでの練習の成果をお互いに応援しながら見合い、かるたでは、須佐・窪田入りみだれて札を取り合って楽しみました。

5年生は、英語の授業「Who am I?」、クイズ形式で自己紹介をしました。「I like」で表現された内容で、その人が誰なのかを当てるクイズで大いに盛り上がりました。



3・4年生は、総合的な学習の発表会を一緒に行いました。須佐小の3年生は、福祉について学習したことから手話を使った自己紹介とクイズ、「ありがとうの花」の歌を発表しました。窪田小の3年生は、窪田小でのこれまでの思い出をパワーポイント(タブレット端末)にまとめて発表しました。4年生は、両校とも将来になりたい職業、あこがれの職業について調べたことや調べて考えたことなどを、これもタブレット端末を使って発表し、お互いに感想を伝え合いました。



窪田小との合同学習

1月29日は1・2年生、1月31日は5年生、2月3日は3・4年生で、窪田小学校との合同学習を行いました。

1年生は、来年度の新入生さんとの交流会に向けての打合せ・リハーサルを行いました。

「また小学校に行きたいな」「1年生ってすごいなあ」と思っしてほしい、そんな気持ちでがんばって練習をしました。



2年生は、体育でなわとびやどじょうすくい運動、国語ではかるたや百人一首でぼうずめく

除雪をしていただきありがとうございました。

徒歩通学の子もたちのために、
地域の方が歩道の除雪をして
くださいました。

